

平成 26 年度 事業報告

法人全体

平成 26 年度パーマリィ・イン中道におきましては、施設全体での稼働率は 91% になっており、前年度より同様の結果となりました。

また、パーマリィ・イン千鳥山荘におきましては、施設全体での稼働率は 89% となっており、前年度より 1% 増の結果となりました。

続いて、パーマリィ・イン西神春日台におきましては、施設全体での稼働率は 92% となり、前年度より 6% 増の結果となりました。

パーマリィ・イン中道

特別養護老人ホーム

平成 26 年度は 94% (前年比 1% 増) の稼働率となりました。

年間を通して、医療機関への入院者が多く、入院期間についても長期になったことによる影響が大きかったと考えます。

事業計画としましては、施設内会議・研修 71 件実施、施設外研修 91 件参加し、実習生は 27 名受け入れ、ボランティアの方々は 403 名受け入れております。

短期入所生活介護

平成 26 年度は 99% (前年比 2% 増) の稼働率となりました。

特養と同様に長期利用予定者の入院や特養への入所等が重なることが多く見られた影響と考慮しております。

通所介護

平成 26 年度の稼働率は 88% (前年と同様) となりました。

近隣の居宅介護支援事業所等に対して、事業所案内等の配布を行ない、新規利用者の増加、送迎時間について柔軟に対応し、利用者のご要望に可能な限り対応できた結果によるものと考えております。

訪問介護

訪問介護職員の退職による影響と長期入院をされた方が多数いたため、登録利用者数の減少が見られました。

居宅介護支援

平成 26 年度の稼働率といたしましては、地域包括支援センターと連携し、新規利用者の増加もあり、前年度と同様の稼働率を維持できたと考えております。

地域包括支援センター

介護予防プラン作成のほか、地域の高齢者が安心した生活を継続できるよう、医療・福祉・地域との連携はもちろんこと、虐待や対応困難事例に関しては、区あんしんすこやか係り等、行政や関係機関と協働し、年間 28 件 (前年比 2.5 倍増) の問題解決に努め、現在も継続しております。

センター主催にて、研修会や連絡会を開催し、民生委員や婦人会、自治会の参加、また圏域の居宅介護支援事業所や訪問介護事業所等も加わった、地域見守り支援者のネットワーク作りを構築、住民相互の見守り意識を高めるための啓発を行ない、地域との深い係わり合いを持たせていただきながら、活動を行いました。

見守り推進事業

区社会福祉協議会・民生委員・婦人会・自治会等の地域見守り支援者との、顔の見える関係作りと連携、また茶話会やウォーキンググループ活動等を行ない、地域のコミュニティ作りを行ないながら、地域の把握・見守りに努めました。

介護機能強化モデル事業（LSA）

ルゼフィール中道住宅の住民の方々に対して、訪問活動や電話による安否確認、また生活相談を行いながら、必要時は行政や担当ケアマネジャー、地域包括支援センター等、各関係機関と連携し、安心して暮らせるための支援を行ないました。

モデル事業として安否確認の機能も果たす配食サービスの提供、集会所を利用した健康教室や栄養教室の開催、また茶話会や映画鑑賞会等、住民の集える場の提供を行いながら、住民相互の見守り意識の強化にも努めていきました。

平成 26 年度 事業報告

パーマリィ・イン千鳥山荘

特別養護老人ホーム

平成 26 年度は、重度化が進んでいるが、入院者数は、あまり変わらず、入院者数の延べ人数が年間 32 人（前年度比 1 人増）。入院延べ日数では、年間 443 日（前年度比 55 日増）となっており、前年度と比較すると 0.56%増加しました。

施設行事等に関しましてはボランティア等の受け入れを積極的に行い、また地域で開催している、防災訓練や、ふれあい喫茶に参加するなどし、地域との繋がりを強化することにより、地域交流が深まり充実した内容となりました。施設内会議・研修は 202 件実施、施設外研修には 45 件参加しました。また、ボランティアの方々は約 212 名受け入れ、実習生に関しましては 54 名の受け入れとなりました。

短期入所生活介護

平成 26 年度は、ユニット型個室の特性を背景にサービスを展開し、リピーターの利用者を中心に個別対応を強化しました。施設入所や体調不良によるキャンセルもあったものの、急な受け入れに対し迅速な対応を行いました。

通所介護

平成 26 年度は、継続した新規獲得の為、地区の地域包括支援センターや各支援事業所と連携を密に取り、新規利用依頼に対し迅速な面接を行うなど受け入れ体制を強化しました。利用者の個別対応や、ケアプランの見直しを行ない、サービス面で質の向上に努め、定期利用者数が増加に繋がりました。

小規模多機能型居宅介護

平成 26 年度は、当サービスの利点の柔軟性を強化し、利用者・家族の要望に沿った送迎体制と迅速な受け入れや、さまざまな形態の要望に沿えるよう努力した結果、提供サービス全体のバランスも良くなり、サービス提供における受け入れ範囲が増す事により、その結果安定した運営が維持できました。

訪問介護

平成 26 年度は、利用者の入院・入所が多く見られましたが、地区の地域包括支援センターや各支援事業所との連携を保ち、新規利用者の獲得に迅速に対応する事により安定したサービス提供を行なえました。

居宅介護支援

平成 26 年度は、近隣のあんしんすこやかセンターとの会議等に積極的に参加し連携を強化する事により、新規利用者の獲得が順調にでき、またサービス面においても利用者や家族の要望に柔軟に対応できるよう、担当者会議等を有効に活用して利用者や家族と各サービス事業者との調整を随時行うことにより、安定した運営を維持できました。

平成 26 年度 事業報告

パーマリィ・イン西神春日台

特別養護老人ホーム

平成 26 年度につきましては、年間で 12 床の入退所が有りましたが、円滑に手続きを行う事で年間の稼働率は 94%と安定した稼働となりました。

昨年同様、地域の方々や保育園の園児達、また隣接する滝川第二中・高等学校と関わる機会を多く持つ事ができ、それら全てのボランティア活動を合わせると、年間で延べ 465 名もの皆様に活動をして頂きました。

施設も 4 年目の運営となり、職員の資質向上を図るべく、施設内外の研修を 190 件行いました。その中でも昨今問題視されている「高齢者虐待防止の研修」には時間を多く割き職員一人一人の意識を高める事が出来ました。

ケアハウス

平成 26 年度は、年間で 94%の稼働率となりました。冬季には入院者が増えましたが看護職員と介護職員の協働により、重篤な症状になられる方は無く、年間を通じても病院への入院延べ日数は昨年よりも少ない値で推移しています。

短期入所生活介護

平成 26 年度は、年間で 98%の稼働率となりました。特別養護老人ホームの入院者空きベッドを利用する事で年間を通じて高い稼働率を推移しています。長期の利用から同施設内の特別養護老人ホームへ移行される利用者も多く、特養への入所を待たれている近隣地域の方々にとっての重要な役割を果たす事が出来ています。

通所介護

平成 26 年度は、年間で 91%の稼働率となりました。地域の方々への広報活動で、デイサービスの多い西区でも認知度を上げていく事が出来ました。機能訓練指導員による、個別リハビリも好評を頂いており、高い稼働率が定着しています。

訪問介護

平成 26 年度は、他事業所からの依頼件数も増えた事で、年間を通じて見ると、昨年度に比べ延べ利用回数・時間共に、4 割程の利用率の伸びが見られています。

居宅介護支援

平成 26 年度は、介護支援専門員の所定件数が年間を通じて安定しており、順調に利用者数を増やす事ができました。また、同施設内の通所介護や訪問介護事業等の利用率向上や地域の高齢者福祉の大きな支えとなっています。